



『青春って、すごく密なので』

南帷子小学校長 堀田 誠

令和 4 年度末に、若葉台の自治会の方から、卒業生にタイムカプセルを作成して欲しいという依頼を受けました。若葉台自治会が発足して 50 年が経ち、それを記念して 50 周年記念の石碑がふれあいセンターに建立されました。その石碑の横の地面にタイムカプセルは埋まっています。このタイムカプセルは、25 年後に掘り起こすこととなっており、その時に覚えていて欲しいという願いから、カプセルを埋める際は、卒業生の代表が参加しました。南帷子小の卒業生 60 名は、「25 年後の自分へ」と題した手紙を書きました。25 年後に読み返したときにどんな思いになるだろうか。25 年後に読み返したときのエネルギーとなればよいと願っています。



タンポポ映えています

さて、25 年後といえば、単純に 12 歳にプラス 25 なので、37 歳です。4 月に入学した児童は、31 歳です。西暦で言うと、2048 年です。どんな社会になっているのか想像もつきません。では、25 年前の 1998 年はどうだったのか調べてみました。(右表参照)

よく見て見ると今につながることに気付きます。Windows 98 が発売され、誰もがパソコンを利用するようになりました。ネットが普及し始めた頃で、世界との距離が急速に近づいたとも言えます。また、「キレル」という言葉が流行語となったように、怒りが爆発する子が多くなり、その原因が分からず、学校でも右往左往していたことを思い出します。25 年経ち、その原因もある程度明らかになり、その対処方法も確立してきました。

- 【出来事】
- 冬季長野オリンピック開催
- 第 16 回サッカー W 杯 仏大会に日本が初出場
- 横浜ベイスターズが 38 年ぶりに日本一
- 映画「タイタニック」ブーム
- Windows 98 発売
- 【流行語】
- キレル (突然、自分の感情を抑制できずに怒りが爆発すること)
- だっちゅーの (パイレーツのギャグ、子どもを中心に大流行した)
- ハマの大魔人 (横浜ベイスターズの佐々木主浩投手の異名)
- ビビビときました (松田聖子が再婚した理由を記者会見で問われて)

改めて 25 年後を考えます。2022 年の流行語大賞は「村神様」でした。その他の流行語で気になったのは、特別賞の『青春って、すごく密なので』です。これは、夏の甲子園で東北勢として初優勝した仙台育英の須江航監督 (39) がインタビューで、コロナ禍で過ごしてきた 3 年生にかける言葉を問われ語ったものです。須藤監督は、「僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは全く違う。青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部ダメだダメだと言われて。活動しててもどこかでストップがかかって。どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で、でも本当に諦めないでやってくれた」と話されました。

ゴールデンウィークからコロナも 5 類になります。コロナ禍でダメだとされたこともできるようになります。仲間と関わる機会も多くなります。25 年後に完全孤立化しないように、人と人との関わりを通して、本当の笑顔を体感できるようにしたいです。笑顔の“もと”とは「関わること」かもしれません。